



平成28年2月19日  
御前崎市 商工観光課  
国土交通省中部地方整備局  
港湾空港部  
清水港湾事務所

クルーズ船の誘致やみなとの賑わい創出など  
御前崎港の新たな可能性を議論  
～御前崎みなとまちづくりシンポジウム～

1. 概要

静岡県西部の物流拠点としての役割を果たすとともに、昨年8月にみなとを核としたまちづくりの拠点として「みなとオアシス」に登録された御前崎港。

本シンポジウムにおいて、地域の賑わい拠点や観光拠点としての御前崎港の新たな魅力づくりや今後の可能性について議論を行いましたので、概要をお知らせします。

(1) 基調講演：国土交通省港湾局長 菊地身智雄氏

【講演概要】

- ・みなとの賑わいづくりの歴史・取組事例・最近の潮流
- ・各地のみなとオアシスにおける取組事例
- ・クルーズ船の大型化、寄港実績など最近の動向
- ・クルーズ船の受入環境改善に向けた取組事例
- ・御前崎港における、みなとオアシスやクルーズ振興を通じた地域の賑わいづくりへの期待について



(2) パネルディスカッション

【主な意見】

- ・昨年、海王丸寄港時には4万人が集まり、港、船に対する市民の熱意を強く感じた。地域で御前崎港を盛り上げるために、1つの選択肢としてクルーズ船を利用すべき。クルーズ船を誘致するためには、行政・民間・市民で構成される誘致組織づくりが必要ではないか。
- ・地域の観光振興に向けた行政の役割は、きっかけづくりとマネジメント。なお、民間においても、観光振興に必要な人材育成に取り組んでいくことが重要。
- ・御前崎港の緑地施設であるマリンパーク御前崎を活用し、マリンスポーツをはじめとした体験型アクティブスポーツのテーマパーク化を提案したい。将来的にはこうした体験型スポーツの聖地となるよう取り組んでほしい。



2. 開催日時 : 平成 28 年 2 月 14 日 (日) 13:00~15:00
3. 会場 : 御前崎市池新田公民館
4. プログラム : 基調講演 国土交通省港湾局長 菊地身智雄  
パネルディスカッション  
パネリスト  
望月 薫 (アオキトランス(株)代表取締役会長、御前崎埠頭(株)取締役)  
羽田 耕治 (横浜商科大学商学部教授)  
石原 智央 ((一社)御前崎スマイルプロジェクト代表理事)  
コーディネーター  
海野 俊也 (静岡新聞社 政治部長兼論説委員)
5. 聴講人数 : 約 170 名
6. 配布先 : 静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、掛川記者クラブ、専門紙記者会、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス
7. 問合せ先 : 御前崎市 商工観光課 企業港湾室 鈴木、西尾  
TEL : 0537-85-1164  
FAX : 0537-85-1156  
  
清水港湾事務所 企画調整課 堀池  
TEL : 054-352-4146  
FAX : 054-353-3072